

2021 年 5 月 21 日

学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘成 殿

近畿大学教職員組合
執行委員長 阪本 洋三

団体交渉要求書

近畿大学教職員組合（以下、本組合）は、学校法人近畿大学（以下、貴法人）に対し、これまで新型コロナウイルス感染対策について繰り返し要求をし、団体交渉を続けてきたが、一連の交渉や対応から、貴法人の危機意識の低さを実感するに至った。変異株の影響が全国的に深刻化している中、今後、緊急事態宣言の解除のみをもって、感染対策が不十分なまま対面授業を強行することのないよう、以下の点を要求する。いずれも安全衛生に関することであり、義務的団交事項に該当する。

1. PCR 検査の結果待ちの学生が授業に出席したという情報が寄せられている。貴法人作成の手引き（新型コロナウイルス感染症拡大防止のための手引き）では結果待ちの者は入構できないことになっているが、現実にはガイドラインを守らない学生は存在する。そして、それによって教職員は感染のリスクを負うことになる。ルールを策定しておけば全員がそれを完璧に守るというあり得ない前提に立つのではなく、ルールを守らない学生は一定数存在し、その学生が感染者であることもありうるという前提で対策を講じるべきである。学生が貴法人のガイドラインを守らずに入構することを防止するための具体的な対策を講じること。
2. マスクの着用についても同様であり、貴法人が推奨するマスクを着用していない学生は少なくない。推奨マスクを学生全員が正しく着用するような対策を講じること。入構時や入館時にチェックし、ウレタンマスクの学生を入構・入館させないということが考えられる。
3. 西村経済再生担当大臣が「マスクして屋外で普通に会話をしてもうつつている」と発言したことが報道されており（5月3日テレ朝 NEWS）、「理美容店で、双方不織布マスク等の感染対策をきちんと行っていたにも関わらず、陽性者(客)から従業員へ感染した事例」も報告されている（「札幌市の感染状況・医療提供体制の週間分析 概況(2021年4月28日分)」）。また、「「3密」ではなくても感染が広がったと見られるケースの報告が相次いでいます。感染力が強い変異ウイルスの拡大でさらに広がるおそれもあり、専門家は「2密」「1密」であっても感染すると考え、対策を徹底してほしいと呼びかけています。」（4月30日NHK NEWS WEB）という報道もなされている。屋外でマスクをし

て話をしても感染する例が報告されている以上、従来の対策では不十分であることは明らかである。感染対策の方針を抜本的に見直し、1つの密さえ作らないようにすること。なお、それが実現できない状況で対面授業を実施することは安全配慮義務違反に当たると本組合は考えているが、この点についての貴法人の考えを説明せよ。

4. 無症状感染者を発見する最も効果的な方法は PCR 検査なのであるから、対面授業を実施するのであれば、入構する教職員全員に PCR 検査を週 2 回程度実施すること。抗原検査は感度が低く、感染者を見落とす可能性が PCR 検査に比べて高いため、不十分である。

回答は一週間以内とする。

以上